

村民だより

No. 404

平成10年 7月1日
東京都小笠原村役場
小笠原村父島字西町
電話 2-3111

平成10.6.1現在 住民基本台帳登録者数	
世帯	1,294
父島	1,071
母島	223
人口	2,350
父島	1,914
母島	436
短期滞在者	
人口	138
父島	91
母島	47

5月の気象(父島)	
平均気温	25.4℃
最高気温	29.8℃
最低気温	21.3
平均湿度	83%
月降水量	163.5mm

参議院議員選挙のお知らせ

先日配布した参議院議員選挙のお知らせ記事の中で開票開始時刻が「午後九時四十五分」となっておりましたが、「午後九時」に変更されました。

問合せ先
選挙管理委員会事務局
☎二一三一

島内美化運動(父島)のお知らせ

小笠原村では、きれいで住みよい島づくりのため、島内(父島)の美化運動を左記のとおり実施いたします。皆様ふるってご参加下さい。

日時

七月四日(土)
午前十時三十分から
(雨天の場合)
七月五日(日)
午前九時から

集合場所

◎大村地区
大神山公園お祭り広場
(大村地区、清瀬職住、二見台、旭台にお住まいの方、及び小笠原小学校)
◎奥村地区
奥村運動場
(清瀬都住、清瀬地区、奥村地区にお住まいの方)
※居住地区ごとのおおまかな集合場所は右記のとおりとなりますが、どちらに参加されても結構です。参加しや

内容

すい場所にお集まり下さい。
都道二四〇号線(気象庁前第一トンネル入口)周辺の空き缶や散乱しているごみ拾い。軍手、ごみ袋は村で用意します。
なお、参加者一世帯につき、キッチンペーパー(拭き・敷き用)一パックを差し上げます。

主催 産業観光課産業観光係
後援 小笠原小学校
☎二一三一四

JR山手線「返還30周年記念列車」が走る

小笠原のポスターとステッカーで埋め尽くされた山手線電車が、六月十七日(水)から走り始めました。
十七日、朝六時二十五分頃大崎駅ホームに入線してきました。始発駅と言うこともあり、乗客もまばらでしたが、小笠原一色の車内の眺めは梅雨空を忘れさせるくらい気持ちよくさせるものでした。
運転初日はラッシュ時に事故があり、ダイヤ通りに運転されませんでした。乗客の中にはカメラやビデオで撮影していた人もいました。
また、乗車した人からは「大変良かった、とても目立っていた」という連絡をいただき、とても好

評を得た事業でした。
なお、村民の方で乗車なされた方は、ぜひ感想をお聞かせ下さい。
問合せ先
産業観光課産業観光係
☎二一三一四



乳幼児健康診査のお知らせ

【父島】
七月二日(木) 午後一時四十五分
会場 保健所

【母島】
七月二十九日(水) 午前十時
会場 母島診療所

それぞれの対象者には、個別に通知いたします。
尚、対象者の方以外でも受け付けておりますので、お気軽にお越し下さい。
問合せ先
村民課住民係
☎二一三一三

六月度シロアリ対策を終えて

平成十年度第一回シロアリ対策(六月度)が終了しました。シロアリ対策団は、名古屋市、宮崎市、福岡市でシロアリ防除を行う業者から編成され、六月八日(土)から十七日まで、母島及び父島に滞在し、シロアリ対策にあたりました。
その間、村民の方々の申し出に基づき、家屋の点検、樹木対策、家屋の防蟻処理などを手がけていただきました。

その際、多くの村民の方々から「集落地域内から、確かにイエシロアリは減っている」「住み分けの効果が現れている」という声が寄せられました。
村では、吉野利夫先生が提唱された「人とシロアリの住み分け」を基本的な方針とし、シロアリ対策に取り組んでまいりました。ここ数年、方針の具体的な効果が現れはじめていると考えています。住み分け方針で重要なのは、家屋防蟻だけでなく、ある一定地域を、面としてとらえ、シロアリ空白地域を作るという考え方です。

しかしながら、空白地域(シロアリ対策地域)の設定は、大村と奥村地域と扇浦地域の一部に限られては、対策地域外の樹木に限り関係から、樹木の果の処理を行うに止まっています。島内全体からシロアリの絶滅させるのは、現状では不可能なものです。

以上のことから、次の重要なポイントとなるのは、対策地域外(集落の外周部)から飛来する羽アリに、再び巣を作らせないとい

うことです。では、どのようにして営巣を防ぐか、シロアリ空白地域をどう維持するか、今後の課題となっています。
住み分け方針と共に、重要なポイントとなるのは、自分の財産は自分で守るという心がけです。何でも他人まかせにするのではなく、自分で自分の財産に目を光らせることにし、シロアリ被害は防げます。イエシロアリの侵入しにくい家屋構造にしたり、侵入の兆候を早期に発見したり、また、樹木対策を含め家屋防蟻をきちんと実施することが重要です。
シロアリ対策チェック項目表を役場で差し上げますので、お申し出ください。
繰り返しになりますが、イエシロアリ対策は、年に一回の家屋防蟻処理だけでは不十分です。周辺の樹木対策、羽アリ対策、日頃の点検などがあって、初めてイエシロアリの侵入が防げます。
村では、シロアリに関する相談などを受け付けますが、対策の主体はあなた自身です。村や商工会は、そのお手伝いをします。
次回のシロアリ対策は十月頃を予定しています。
問合せ先
産業観光課産業観光係
☎二一三一四
母島支所庶務係
☎三二二一一
小笠原村商工会
☎二二六六六



ボンコツ車の島外搬出について

七月はボンコツ車の搬出月です。小笠原村では、共勝丸によるボンコツ車(自動車等)の搬出を奇数月に実施しています。

実施日はまだ未定ですが、中旬頃を予定しています。決定次第は、スタディーや防災無線でお知らせします。

条例でいう、自動車等とは次のとおりです。

廃車となった

・自動車

・バイク

・原動機付自転車

畑や個人の庭に置いてあるボンコツ車も、最後は必ず島外搬出して下さい。

ボンコツ車を出す方は、必ずガソリンやオイルを抜いて持ち込んで下さい。車両にガソリン・オイルを入れたまま出すと、船倉内で引火・爆発する恐れがあります。

積み込み時にメーターが残量を示している車両は、その場で抜いていただきますので、ご注意ください。

また、車内にゴミを残したまま出さないように願います。

問合せ先

産業観光課 産業観光係

母島支所 庶務係 〇二一三一四 〇三一二一一

粗大ごみ収集のお知らせ

父島 七月二十一日 (火)

母島 七月二十二日 (水)

七月二十二日 (水)

【出し方】収集日の朝八時までに、ステーションへ、通行の邪魔にならないように出して下さい。なお、前日の夜に出さないようにお

願います。

【対象】電気製品、家具、ふとん、自転車など。

【収集しないもの】バッテリー等の自動車部品、建設廃材、ドラム缶、ボンベ類、鉄屑などは収集しません。

粗大ごみの中でまだ使える物や、再利用できる物は、ご近所や知り合いなどに一声掛け合せてみて下さい。自分にとっては必要ない物でも、他の人にとっては充分活用できる物があるかもしれません。

ごみの減量化にご協力下さい。また父島では、ご近所に声を掛けた上でまだ十分使える物があれば、ご一報いただければ引き取らせていただきます。

役場が引き取ったものは、展示会を行い、リユース(再使用する)ので、ご協力お願いいたします。

問合せ先

産業観光課 産業観光係

母島支所 庶務係 〇二一三一四 〇三一二一一

テレビ利用料

減額免除制度のお知らせ

小笠原村テレビ視聴管理組合は、次の条件に該当する世帯組合員について、利用料の減額免除制度を設けています。詳しくは管理組合までお問合せください。

(全額免除)

・生活保護法による扶助を受けている場合

・災害救助法による救助が行われた区域内において、当該救助に係る災害により半壊、半焼または床上浸水以上の程度の被害を受けた建物を有する場合。

(半額免除)

・世帯を構成する者すべてが村民

税非課税であり、かつ次に該当する場合

・世帯の中に、身体障害者手帳(視覚、聴覚、肢体不自由一、二級)を有する者がいる場合。

・世帯の中に、戦傷病者手帳(特別項症、第一款症)を有する者がいる場合。

・世帯の中に、精神薄弱(一度、二度)に該当する者がいる場合。

・世帯の中に、満六十五歳以上の高齢者がいる場合。

問合せ先

小笠原村テレビ視聴管理組合

〇二一三五一〇

沖繩から・・・!

昨年、旧おがさわら丸が、お別れに、母島一周さながら航海を行いました。その中のイベントで、手紙入りの瓶を放流したことを覚えていらしゃいますか。当時十四本の瓶を母島ワントネ沖で放流しましたが、そのうちの一本が、なんと二キロの海を越え、沖繩に漂着したという連絡がまいりました。瓶は、今年の一月に沖繩県島尻郡中里村宇比家定(ひやじょう)の海岸(ぜび、日本地図で場所を確認して見て下さい)で発見されました。瓶を拾ってくださったのは沖繩市にお住まいの松堂功さんで、息子さんの広幸君(小四)から発見のお手紙を頂戴しました。

その後、小笠原村からもお礼の手紙を出したところ、次のようなお返事を頂きましたのでその一部を紹介させていただきます。

「はじめまして、僕は広幸です。お手紙ありがとうございました。手紙がきたよ、とお父さんに見せたら、宝くじが当たるとかいう手紙の方がうれしくていい、と僕にいました。僕もそう思います。」

小笠原村

祝! ゆり丸母島初入港

五月二十七日午後三時、記念すべき汽笛が母島沖に響き渡り、新造船ゆり丸が初入港しました。汽笛が鳴ると同時に母島太鼓研究会による小笠原太鼓が披露され、岸壁着岸後、花で飾られたタラップが、新しいペンキのまぶしい「ゆり丸」にかけられました。その後、岸壁にてゆり丸歓迎式典が開催され、乗船客全員に母島特産のミニトマトが配られ、乗船員の皆様には母島島民代表から花束が送られました。ゆり丸は六月十一日まで母島航路に就航し、ドッグからリフレッシュして戻ってきた、ははははと交代しました。なお、長年親しまれてきた第2はははは丸は、五月に売却され、遠いフィジーの海へと旅立ちました。フィジーでも長く活躍されることを願っています。

小笠原村

急患一九番について

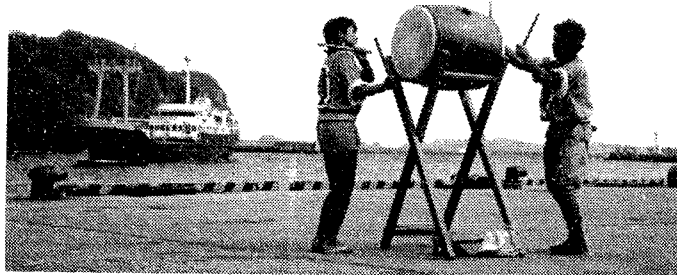
いよいよ、小笠原らしい季節となり、海や山へ行かれる機会が多くなりますが、同時にケガをする、ケガをしなくても急患として診療所にかかりたい場合、昼間は直接診療所にお越し下さい。休日や夜間、その他どうしても診療所に行けない場合は、一九番に電話して下さい。ただし、ピンクの電話からは一九番にかけられない場合があります。ピンクの電話からは一九番する際は必ずお店の方に話をし、下下さい。また、ピンクの電話を所有されているお店の方は今一度、店頭でのピンクの電話から一九番する方法をご確認下さい。

小笠原村

「五十周年を迎えた検察審査会」

検察審査会制度は、国民の中からくじで選ばれた十一人の検察審査員が、一般の国民を代表して、検察官が被疑者(犯人と思われる人)を裁判にかけなかったこと(不起訴処分)のよしあしを審査するという制度で、本年七月十二日に施工五十周年を迎えます。検察審査会は、全国に二百一十あり、これまでに検察審査員あるいは補充員(検察審査員に欠員ができたときなどに、代わって検察審査員の仕事をする人)に選ばれた方は四十五万人を数え、被害者の申立てなどによって審査した事件は十三万件に上っています。また、検察審査会の議決に基づいて検察官が起訴した事件も一千件を超えています。検察審査会制度について詳しくお知りになりたい方は、東京第一・第二検察審査会事務局までお気軽にお問合せ下さい。

問合せ先 〇三一二五八 一五四一一



小笠原村からの 救急患者搬送四百回に

小笠原村では、管内で患者が発生し急を要する時には、海上自衛隊機等により内地病院に搬送・収容されています。急患搬送は昭和五十年五月から始まり、先月六月をもって延回数が四百回に達しました。患者の搬送にあたっては、東京都に要請を行い海上自衛隊に協力を戴いています。小笠原村では、近く関係者に感謝の意を表す予定です。

まずは、紙面をお借りいたしました。関係者各位に感謝と御礼を申し上げると共に、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

村民課診療所係
〇二一三八〇〇

小笠原のいま・昔(十三)

帰島、漁協設立
小笠原諸島返還前、父島在住の欧米系漁民は数隻のカヌーで漁を行いながらグアム島に魚を出荷し生計を立てていた。六月二六日の返還を間近に父島在住の欧米系漁民をどの様に受け入れるのか？美濃部都政には大きな課題が残っていた。

返還二ヶ月前、佐々木卓氏(前小笠原島漁協、小笠原母島漁協組合長)を交渉団長に第五神徳丸は父島二見港黒潮岸壁に着岸した。今ははじま丸が接岸する桟橋内側あたりである。上陸許可を受けた一行は懐かしい人達と再開し、父島在住の漁民と交渉した。協同組合を設立して帰島漁民と一緒に漁をする約束ができた。その成果は東京都にも伝えられた。

東京都は復興を理由に返還後の小笠原諸島に三年間の暫定措置をとった。旧島民はすぐに返還された小笠原の海は漁業権がなく内地船の

格好の漁場となり、三年経って帰ったら乱獲された海に魚はいらなくなるか？それまで待てない。一日も早く島に帰り魚を採る、生まれ故郷で暮らすとの思いから漁民は即時帰島を求めた。

『なにがなんでも帰る！』佐々木卓氏の信念であった。

いよいよ小笠原漁民が我が故郷へ帰る日、九月十三日神奈川県三浦市三崎港から盛大な見送りを受けて出港した。内地での二三年間の数々の思い出、これからの漁業への夢を乗せ、四隻の漁船は父島二見港へ向かった。

三崎港を離れて三日目の朝、左舷前方に小笠原諸島最北端の島北之島がかすかに見えてきた！
天候晴、海は風、気持ちのいい朝！誰かが「オーイ、北之島が見えるぞー！」斉藤良二さんの声か？
冬木孝雄さんなのか？みんなデッキに出にひたっていた。その姿は今も鮮明に思い出される。『やっとな帰って来た！』今は亡き稲垣準さん、沖山平次郎さん！三十年前を思い出す度に開拓の先駆者達が思い浮かんで来る。

帰島後、在来漁民との話もまたあり、小笠原島漁業協同組合が設立され、九月に認可された。同時に漁業権も設定された。百名を超える大所帯は多大な負債を背負いながらもブレハブの宿舎作りから始まっていったのである。

(佐々木 幸美)

平成十年度高圧ガス試験

本年度の試験日程が決まりましたので、お知らせ致します。

- 一 試験案内書配布場所及び願書受け付け
・ 配布 七月三十日(月)から
・ 申込受付 八月二十四日(月)から
・ 九月四日(金)
- 二 試験日及び会場
小笠原支庁産業課商工係

・ 十一月八日(日)
・ 小笠原支庁大会議室
問合せ先
小笠原支庁産業課商工係
〇二二二二二

国民年金・厚生年金などを 受給している皆さんへ

国民年金・厚生年金・船員保険の支払は年六回です。これまでは、支払の度に(年六回)社会保険業務センターより支払(払込)通知書をお送りしてまいりました。

今年度からは、一年分の金額のお知らせを、毎年六月にまとめて通知することになりました。年金の支払は年六回でこれまでと変わります。

これは、事務経費などを削減するために行うものです。

なお、支払月に支払通知書を受け取る方にはこれまでと同様、支払の度に支払通知書をお送りいたします。

また、年の途中に、年金額等の変更があった方には、その都度お知らせいたします。

ご理解とご協力をお願いいたします。

母島巡回労働相談のお知らせ

小笠原総合事務所では、毎月、「母島」において、担当職員による労働相談を実施しております。七月の相談日時等は次のとおりです。

なお、「父島」においては、随時、相談をお受けしておりますので、小笠原総合事務所までお問い合わせください。

実施日時
七月十七日(金)
午後五時から六時まで

実施場所
母島村民会館 二階和室

相談内容

- 労働条件
- 賃金、労働時間、安全衛生等
- 労災保険
- 加入、労災給付等
- 求人求職
- 求人求職申込
- 雇用保険
- 加入、失業給付等

問合せ先
小笠原総合事務所業務課
〇二二二二二

自動車運転免許試験について

小笠原警察署では、本年十月から十一月にかけて自動車運転免許試験を実施します。

免許の種類は次の通りです。

- 一 大型免許
- 二 大型特殊免許
- 三 普通免許
- (含む限定解除 及びオートマチック)
- 四 自動二輪免許

受付は八月三十日(日)午前九時から午後三時まで、警察署の二階講堂で行います。

小笠原村に住民登録されている方に限り、免許証の住所変更手続きを必ず済ませて下さい。

尚、申込み用紙は、警察署、まゐるの商店にて八月中旬頃から配布いたします。

- ・ 申込みに必要なもの
- ・ 本籍記載の住民票
- ・ 免許用写真三枚
- ・ (三×二・五センチ)
- ・ 免許所持者は必ず運転免許証を持参のこと

・ 分担金
(申込み用紙配布時連絡)
二十九日・三十日は(土)・(日)で、住民票が取れませんので、あらかじめご用意下さい。

問合せ先
小笠原警察署
〇二二二二二

「心の相談」

保健所では、都立精神保険福祉センターの専門医による「心の相談」を行います。

・ 眠れない

・ イライラする

・ ふさぎ込んでしまう

・ お酒のことで困っている

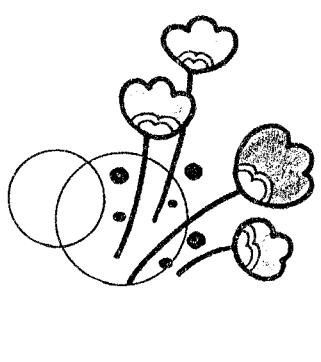
・ どんな小さなことでも結構です。お気軽にご相談下さい。

ゆつくりと相談していただくために予約制となっております。また、日程は次のとおりです。詳細につきましては保健所へご連絡下さい。

日程
・ 父島 七月二十八日(火)
・ 母島 七月二十九日(水)

場所
・ 父島 保健所
・ 母島 母島診療所

問合せ先
島嶼保健所小笠原出張所 保健婦 山口
〇二二二二二



小笠原高等学校図書館開放

高校図書館は、毎週水曜日(午後五時から七時)、第一・第三・第五土曜日(午後二時から五時)を、村民の皆さんに開放しております。

図書室書庫には、寄贈されたビデオが百五十本以上も保管されております。少々古いものですが、ホラーやサスペンス系、アクションや名画系など色々取り揃えておりますので、本とあわせてどうぞご利用下さい。

七月の開放日は、一日(水)・四日(土)・八日(水)・十五日(水)・十八日(土)・二十二日(水)となります。

なお、二学期中は、七月二十二日(水)が最後の開放日となり、八月中は長期休業期間中ですので閉館とします。どうぞご了承下さい。また、二学期最初の開放日は、九月二日(水)ですので、よろしく願います。

※図書室に初めて来館される方には、利用者カードを発行しておりますので、ご面倒でも免許証・村民カード等の身分を証明できるものをご持参下さい。

小笠原高等学校図書室では、小笠原に関する歴史・自然の資源を収集しております。詳しい情報ををお持ちの方は、ぜひご一報下さい。

問合せ先

小笠原高等学校

☎二二三四六

父島村民会館図書室より

・本のポストを活用して下さい！
玄関に入ってすぐのカレンダーの下にある「本のポスト」で、読みたい本が見つからない、図書室に入れたほしい本があるなど、利用者の声をお知らせ下さい。
電話番号・お名前も書いていた

だけるとお返事もできません。

・図書室に欲しい本を
購入希望図書、推薦図書がある方は、次の事項を記入したメモを、玄関内の「本のポスト」に投函して下さい。

〔記入事項〕

一 図書名

二 著者名

三 出版社

四 定価

五 推薦理由等

不明なところは、こちらで調べますが、詳しい方が助かります。購入できない場合もありますので、ご容赦下さい。

・本を探すときの

「ダ・ヴィンチ」「いながら本屋さん」「本の雑誌」「ほんわかだより」

「冒険小説のフィールドガイド」

「自分さがしの本棚」

「自己啓発百冊の本」

「この夏は何をしようかな？」

「たのしい海岸ハイキング」

「やさしい星座の見つけ方」

「音と楽器をつくる」

「天気予報はおもしろい」

「原始生活百科」

「ペットの飼育方」

「フロンはなぜオゾン層を壊すのか？」

「壊れゆく(オゾン層)」

「子どもの日焼けに

「グリーンコンシューマー入門」

「シリィハウスブック」

「完全版・自給自足の本」

「夏休みの自由研究に役立つ野外活動・観察ガイド」

「理科の自由研究ヒント集」

「自然図鑑」

「冒険図鑑」

「あそび辞典」

「夏休み、親子で本を

「ひとりでも本を愛することを覚

「葉の素晴らしい世界へ、彼らを誘

「誰かがその世界へ行く道を教えて

「オリバー・プレスコット

「我が子に

「読み聞かせをする父親」

「読み聞かせをこの素晴らしい

「世界」

「子供が選んだ子供の本」

「なにかおもしろい本はない」

「こんなとき、こんな絵本」

「この本だいいき」

「朝の読書が奇跡を生んだ」

「船橋学園読書教育研究会

・図書ボランティア(水・土曜日

九月三十分～十一月三十分)は、

七月四日～八月末までお休みしま

す。

迷走するアオウミガメ

今年の産卵期は、アオウミガ

メの産卵期が例年よりも三週間ほ

ど早く四月中旬には始まり、すで

に稚ガメが孵化している少し変わ

った産卵シーズンになっています。

また、至る所の海岸でキヤタピラ

状態の亀の足跡を見かけるほど上陸

頭数が大変多いのも今年の特徴で

す。

しかしながら、頭数が多いせい

でしようか、砂浜から舗装道路ま

で歩き出て車両通行止めを引き起

こしたブ川にはまったり、昨年の

台風による倒木の中に入り込んで

られなくなった、いわゆる迷走

する雌亀が目立っています。これ

らの亀は、村民からの連絡と御協

力により全て無事に海に返すこと

が出来ましたが、今後もこのよう

な事態が起こるかも知れません。

現在小笠原では、上陸中の雌亀は、

捕獲が制限されており、許可のな

い一般の方は捕まえることは出来

ません。これから産卵盛期に入り

夜間海岸でアオウミガメに出くわ

すことがありますが、もし

亀が何かに絡まったりして動けな

くなっていると思ったら、海洋センタ

ーまでご連絡ください。

問合せ先

小笠原海洋センター

☎二二八三〇

平成十年度第四・五回

「知事と都政を語るつどい

〜青島さんへ、私も一言〜

第四回

テーマ

中小企業の活性化と雇用問題

日時

九月七日(月)

午後六時三十分～八時まで

会場・募集人員

都庁第一本庁舎北展望室

十五人程度

第五回

テーマ

「テレビ会議」

みんなで創る生活都市東京

〜テレビ会議で話そう!〜

日時

九月二十九日(火)

午後二時三十分

募集資格

都内在住・在勤・在学の方

(公務員を除く)で、過去一

年に「つどい」に参加したこ

とのない方。

募集締切

平成十一年七月一日

(消印有効、FAX着信有効)

申込方法

はがき又はFAXで参加希望

日(第五回は希望会場も)。

テーマに関する意見や要望を

一点(二百時程度)・住所・

氏名(ふりがな)・年齢・職業・

性別・電話番号を記入のうえ、

〒一六三三八〇〇

東京都政策報道室調査公聴課

「知事と政治を語る集い」担当

まで。

右記記入項目が不備の場合は

無効となります。

その他

応募者多数の場合は、地域・

年齢等を考慮して選考します。

手話通話希望・車いすご利用

の方はその旨を明記して下さい。

問合せ先

東京都政策報道調査公聴課

石井・原田

☎〇三三三八八二二四二

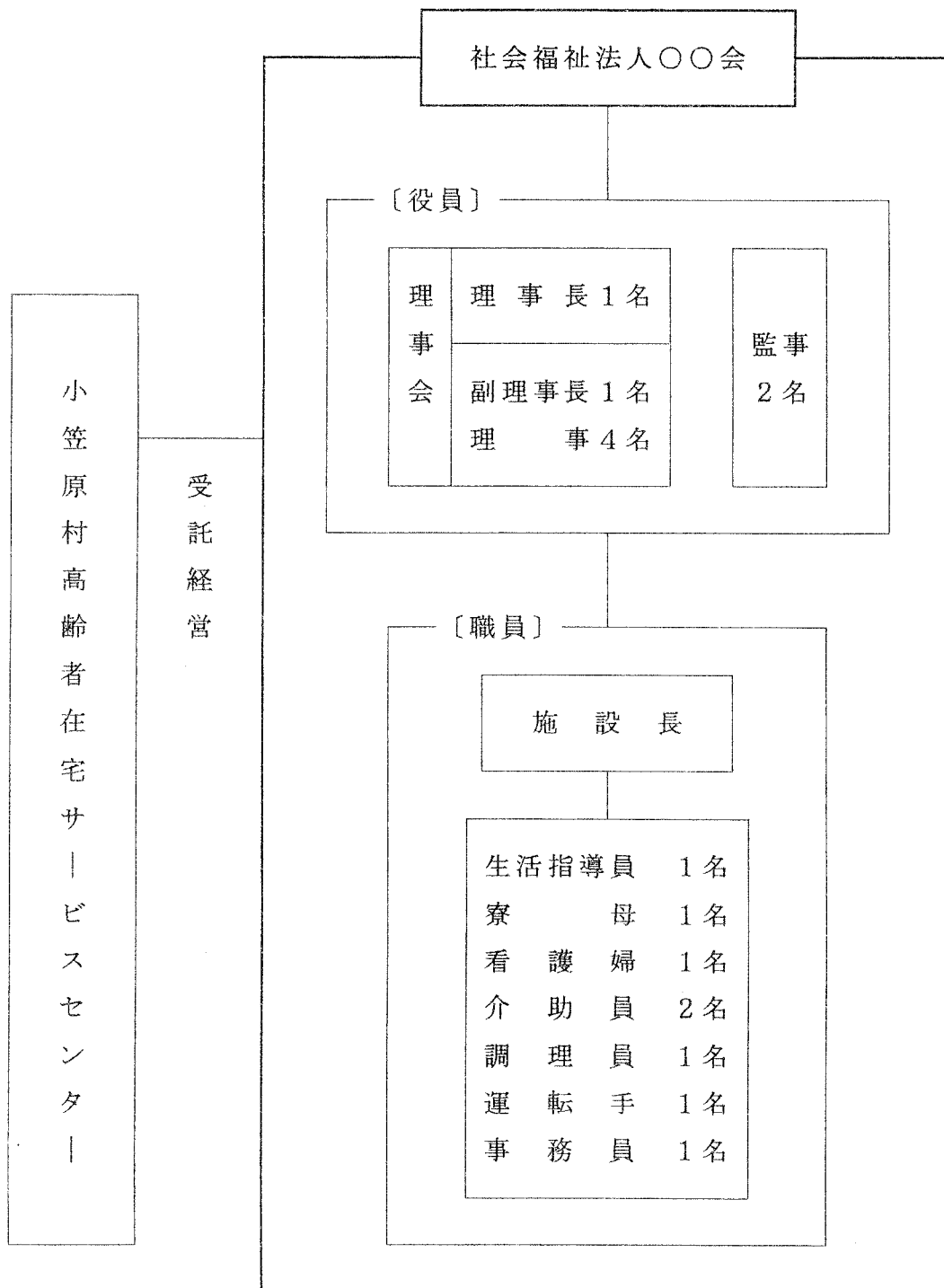
FAX

〇三一五三八八一二二三

小笠原村村民課

法人設立の検討経緯については、随時、この紙面で広報したいと存じます。

新設法人組織図



* 職員の職種、人数については、まだ未定です。

問合せ：村民課 地域福祉センター開設準備担当
樋口 (TEL: 2-3113)

小笠原諸島返還30周年記念 フォトコンテスト

小笠原諸島は昭和43年6月に米国から返還されて30周年を迎えました。「東洋のガラパゴス」といわれる小笠原の自然は島に住む人だけでなく、訪れる人にも大きな感動を与えてくれます。フォトコンテストを通じて、小笠原の自然のすばらしさを再確認し、村民及び観光客とともにそのすばらしさを共有する事を目的として開催いたします。

応募要綱

* テーマ

小笠原諸島の自然（イルカ・クジラ・植物・海・風景等）

* 応募資格

プロ、アマ問いません。一人何点でも応募できます。

* 部門

A部門 カラーライド部門（35mm、マウント仕上げ）

B部門 カラープリント部門（キャビネ判～四つ切り）

（両部門とも未発表のもので、同一または類似品が他のコンテストに応募及び発表される予定のないものに限りします。）

* 賞

A部門

金賞	賞金 20万円	1作品
銀賞	賞金 10万円	1作品
銅賞	賞金 5万円	1作品
入選	賞金 2万円	3作品

B部門

金賞	賞金 20万円	1作品
銀賞	賞金 10万円	1作品
銅賞	賞金 5万円	1作品
入選	賞金 2万円	3作品

（入賞は各部門1人1賞とします。）

* 審査員

榊原透雄（写真家）、村役場産業観光課

* 発表方法

入賞・入選者には直接本人に通知するとともに、村民日より11月号に掲載いたします。

* 応募上のご注意

- ①応募作品には一点ずつ応募票もしくはそれに準じた様式のもの添付して下さい。
- ②コンテストで入賞、入選した作品については、著作権は1年間（平成11年中）小笠原村に帰属します。
- ③B部門の方は入賞、入選後速やかにネガを提出していただきます。
- ④作品の応募は郵送もしくは直接持ち込みでお願いいたします。
- ⑤応募作品の返却は希望する方のみ行います。
- ⑥入賞、入選後であっても類似及び二重応募作品と認めた場合は入賞を取り消すことがあります。
- ⑦郵送中の事故についての責任は負いません。

* 応募作品の後利用

村のガイドマップ及び雑誌広告等に使用させていただきます。

また、コンテスト終了後商工観光会館（Bしゅぷ）ロビーに展示し、内地でのイベントに参加するときは、会場でも展示いたします。

* 応募先及び問い合わせ先

〒100-2101

東京都小笠原村父島字西町

小笠原村産業観光課（持ち込みは母島支所でも可）

☎04998-2-3114

（ご希望の方は、応募要綱をFAXいたします）

* 応募期間

平成10年9月1日（火）～平成10年9月30日（水）

（村外からの応募は9月28日東京発便に間に合うようお願いいたします。）

A部門応募票

応募者氏名

住所・電話番号

撮影場所

応募作品の返却

希望する ・ 希望しない
（どちらかに○をして下さい）

B部門応募票

応募者氏名

住所・電話番号

撮影場所

応募作品の返却

希望する ・ 希望しない
（どちらかに○をして下さい）